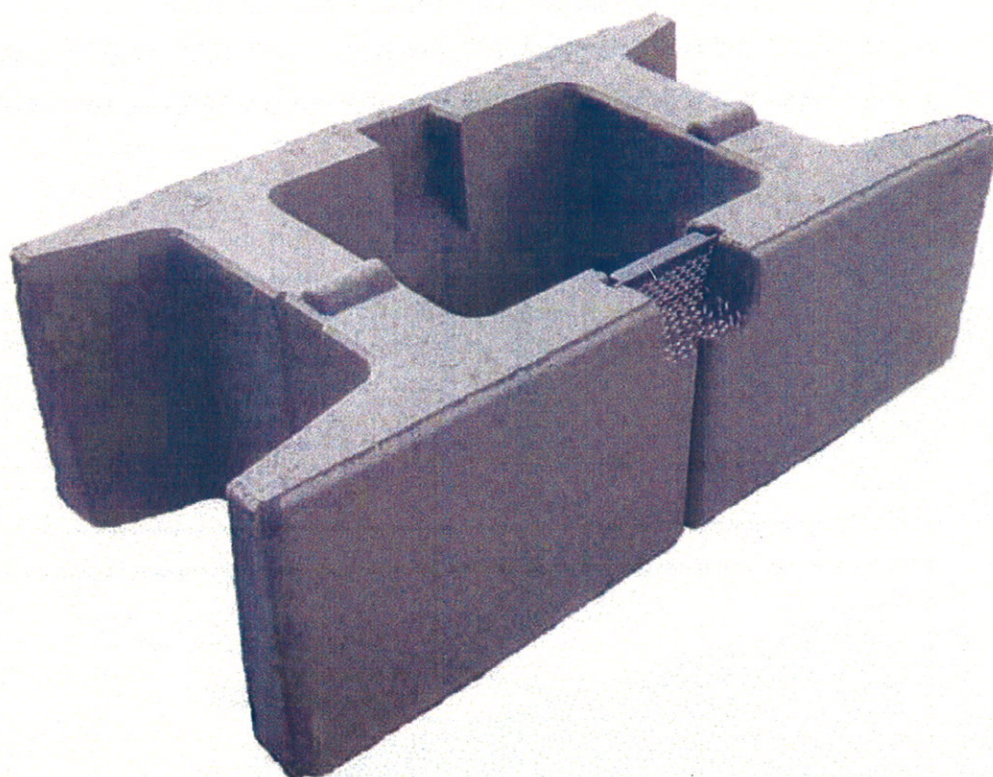


“植生緑化” “水生生物(魚類)営巢”

多機能・大型ブロック

ネクストーンⅡ



株式会社

高見澤

コンクリート事業部

多機能・大型ブロック ネクストーンⅡ

特 長

自然・環境を保全しつつ、安全な護岸や道路擁壁を構築できます。

従来からのブロック積擁壁としての性能を保持しながら、自然環境を保全する機能を補完させたコンクリートブロックであり、機械施工に適した形状に改善されたのが“ネクストーンⅡ”です。

魚巢や植生を目的とした、幅広の開孔をもつ“魚巢・植生タイプ”もあります。

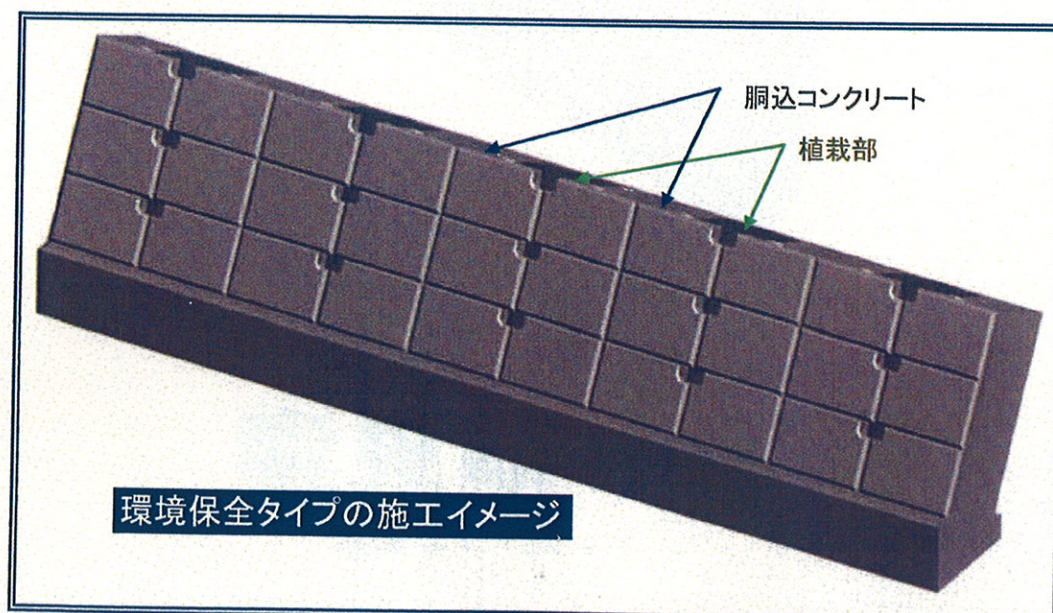
胴込材の選定により次のような効果が期待できます。河川に使用する場合、特に水中や水際付近に設置される箇所には、胴込め割栗石を入れることにより、魚類や水生生物の生息域を形成できます。また、高水位より高い位置の護岸や道路に使用する場合には胴込土砂(植栽土)により植生をが可能で。

大型ブロック積擁壁として使用する、開孔の無い“全練積タイプ”もあります。

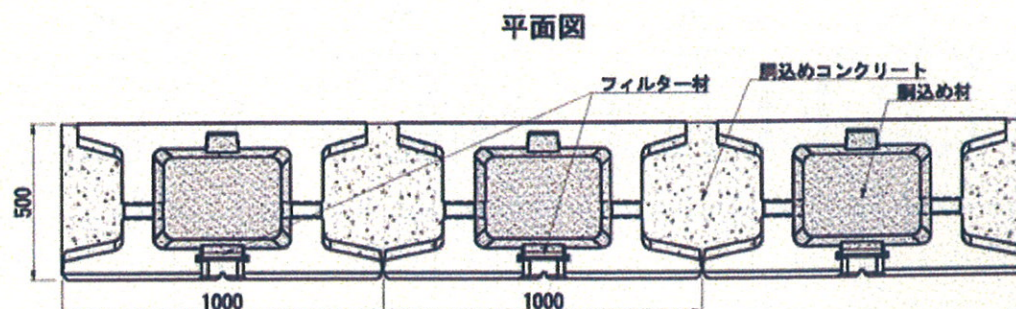
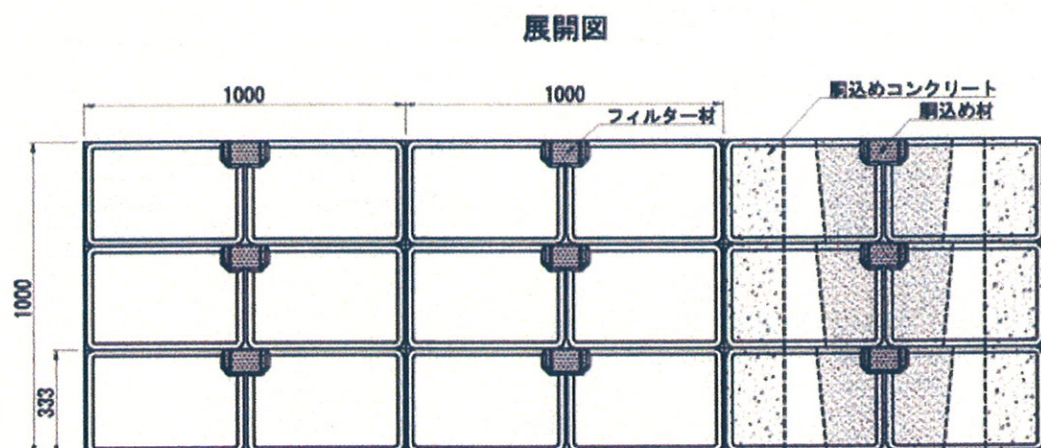
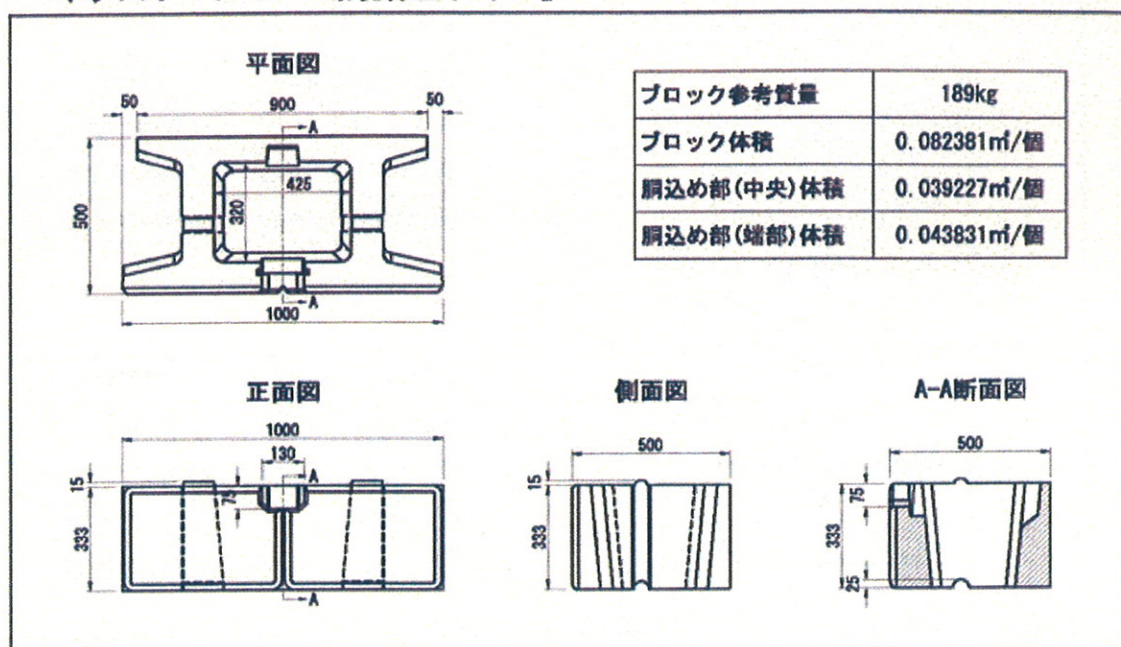
砂防河川等の土石の衝撃や水衝部等で磨耗や破損が懸念される箇所や、壁高が大きな大型ブロック積擁壁等で剛性の高い構造物に使用する場合には、全て胴込めコンクリートを打設可能な開孔の無い“全練積タイプ”もあります。

規格諸元

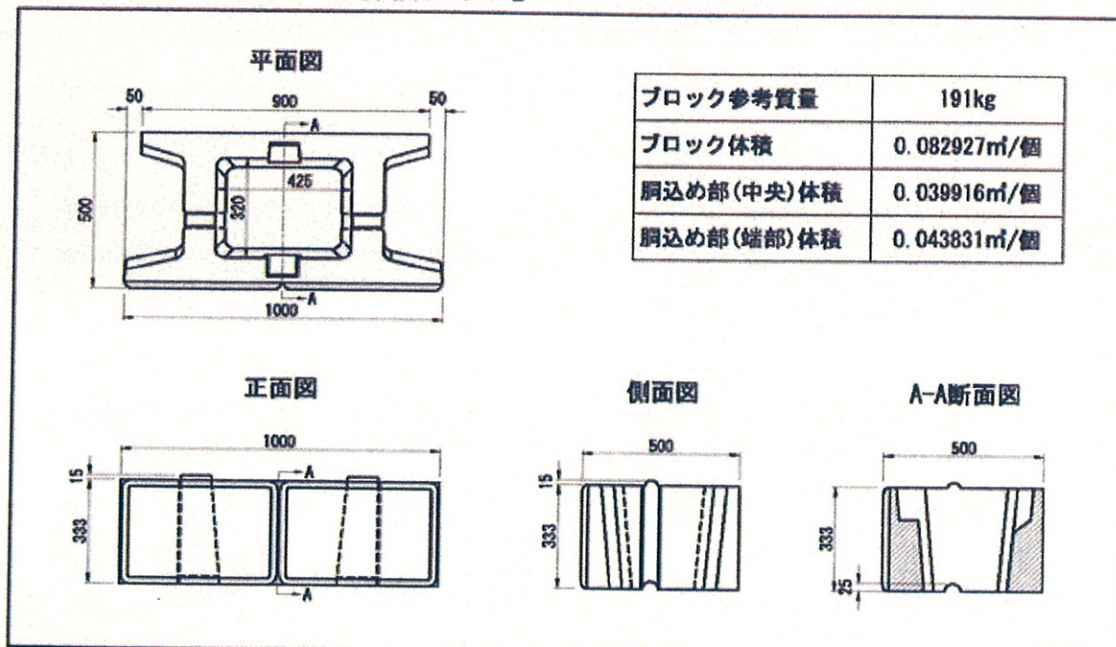
製品規格・種別	主 要 寸 法 高さ × 長さ × 控長 (mm)	製品の諸量		施工面積 1m ² 当りの諸量			
		体積 (m ³)	参考質量 (kg)	胴込土砂 又は割栗石 (m ³)	胴込め コンクリート (m ³)	ブロック 数量 (個)	壁体質量 (kg)
環境保全タイプ	333 × 1000 × 500	0.08238	189	0.118	0.131	3.0	1059
全練積タイプ		0.08293	191	-	0.249		1145
魚巢・植生タイプ		0.08102	186	0.120	0.131		1052



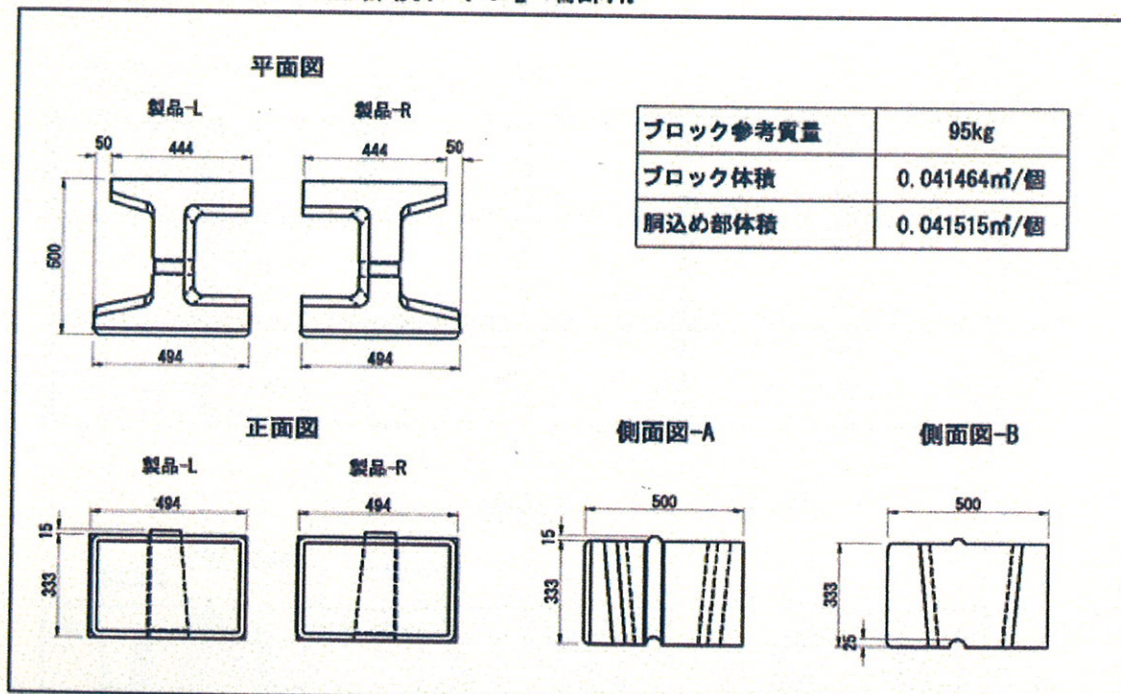
ネクストーンⅡ 「環境保全タイプ」



ネクストーンⅡ 「全練積タイプ」

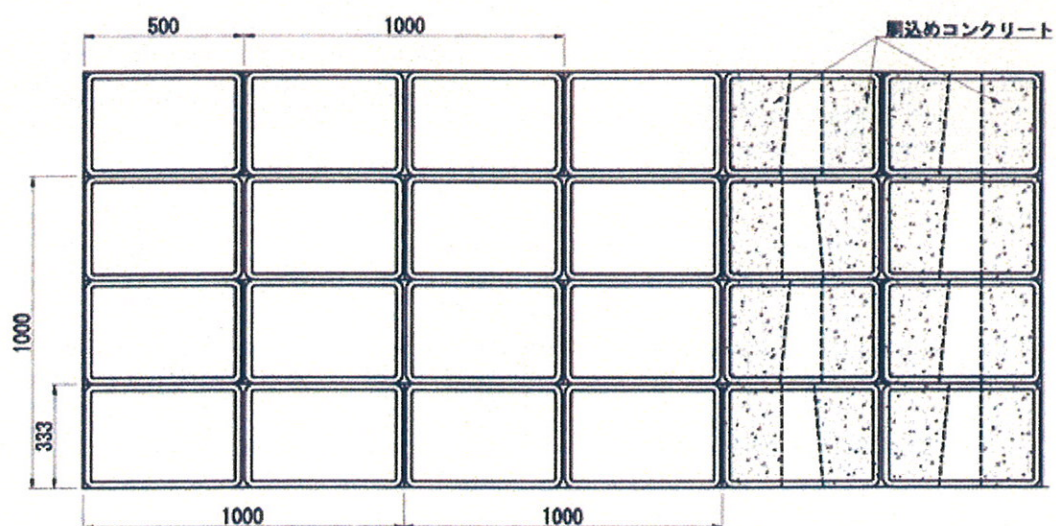


ネクストーンⅡ 「全練積タイプ」 端部用



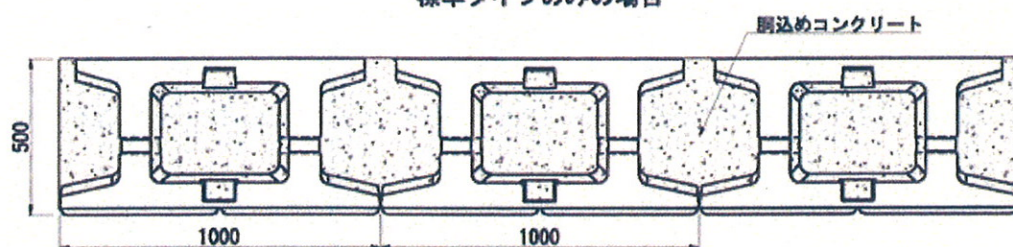
ネクストーンII 「全練積タイプ」

展開図

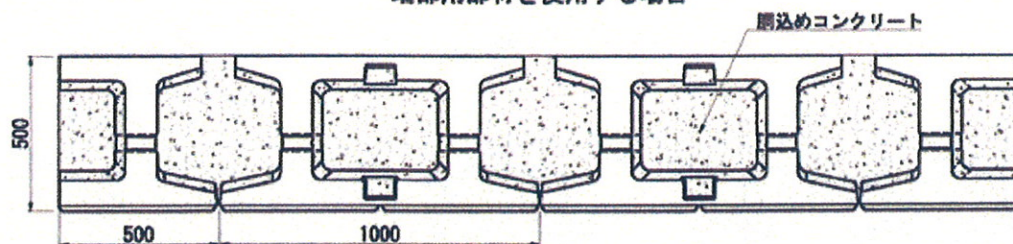


平面図

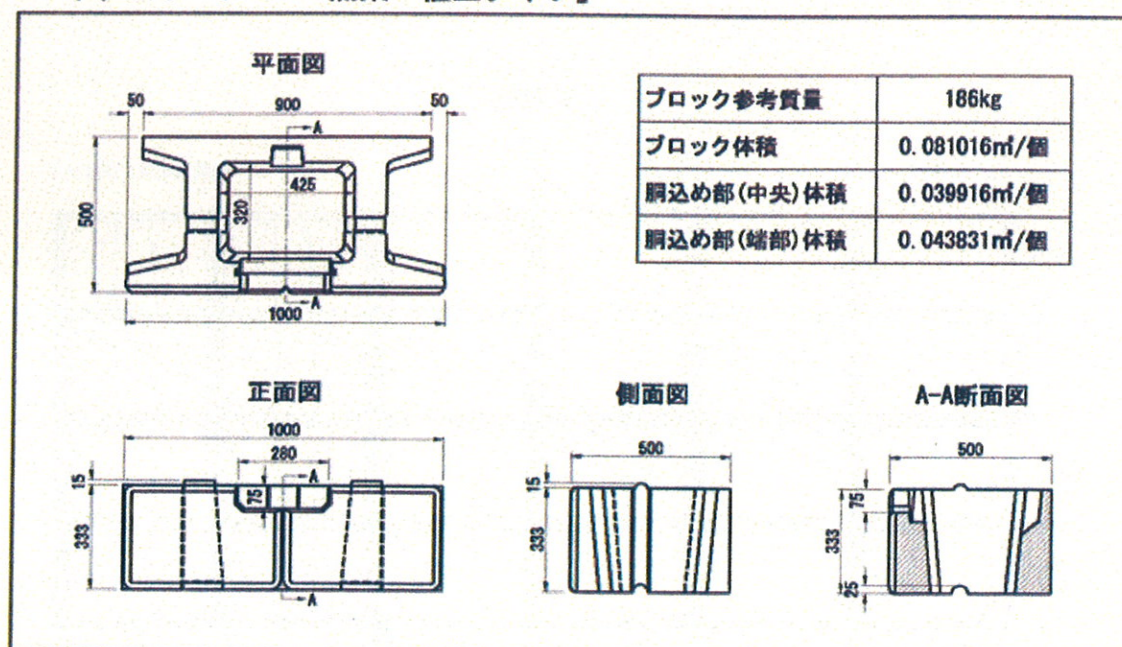
標準タイプのみの場合



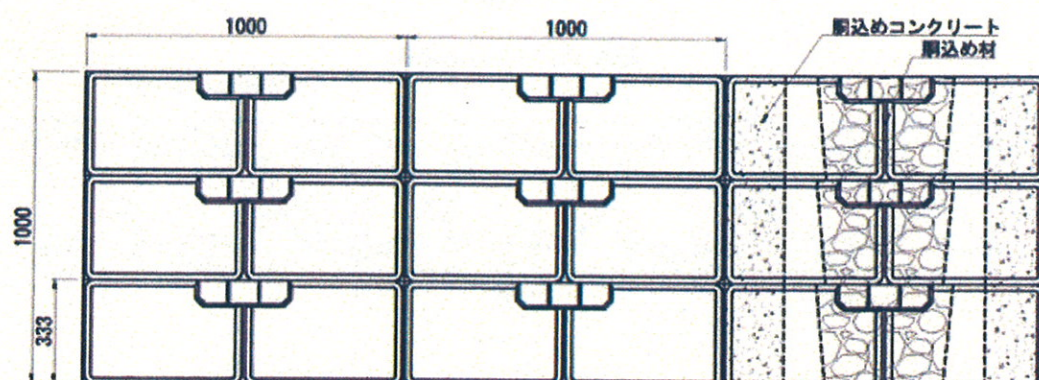
端部用部材を使用する場合



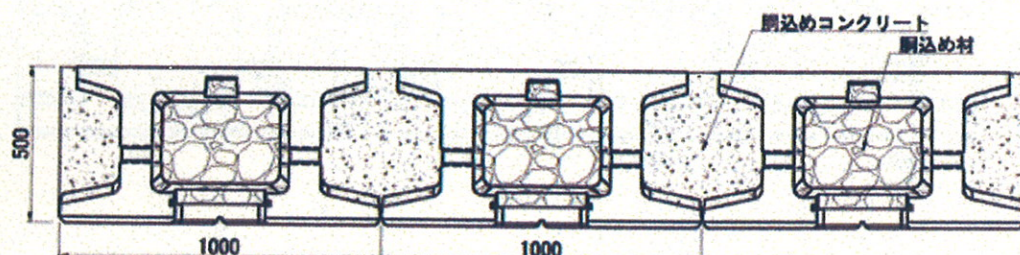
ネクストーンⅡ 「魚巣・植生タイプ」



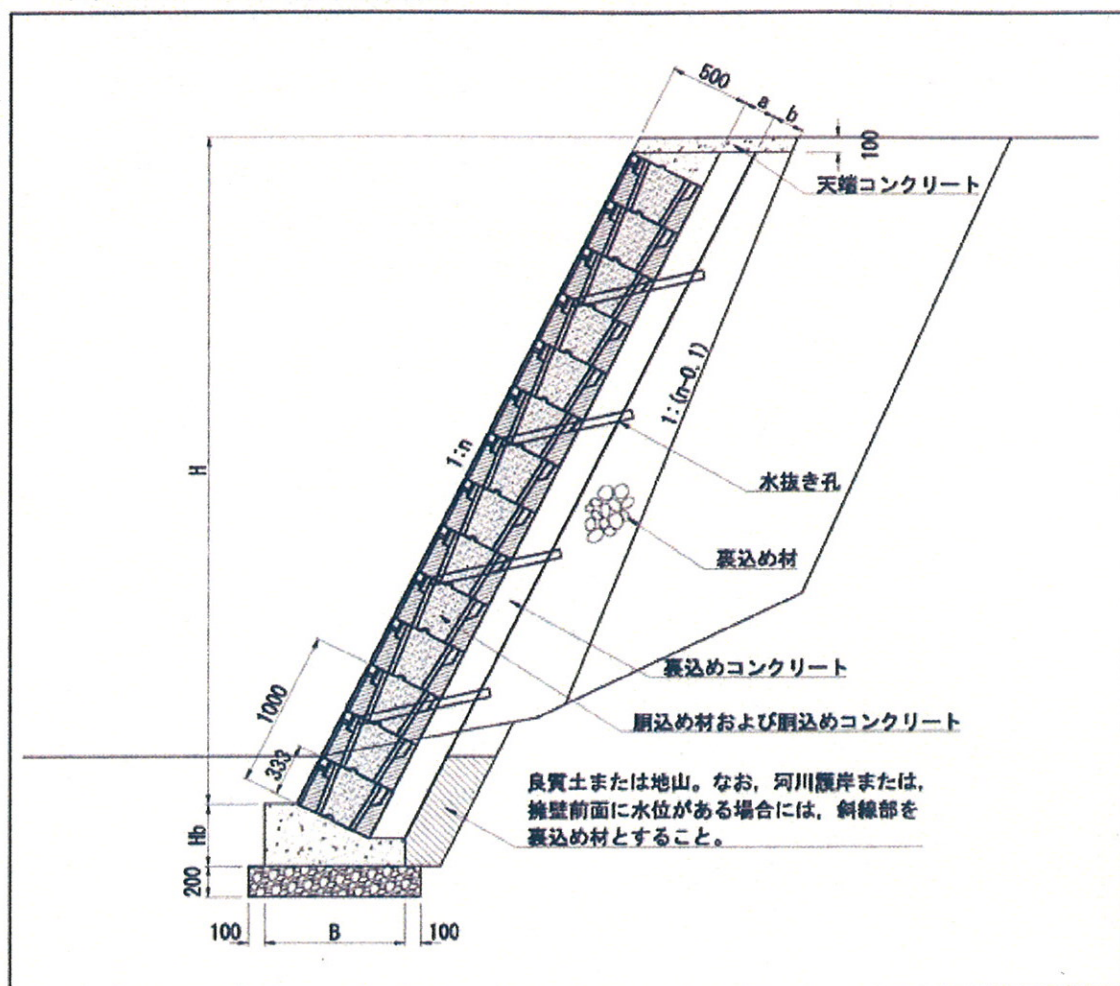
展開図



平面図



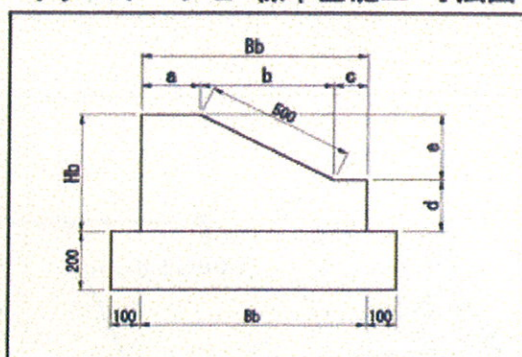
ネクストンII 標準断面図



注意事項

1. 胴込めコンクリート、裏込めコンクリートおよび基礎コンクリートは、 $\sigma_{ck}=18.0\text{N/mm}^2$ 以上とすること。
2. 裏込めコンクリートの厚さ(a)は、構造計算により決定する。(厚さは、0~20cm程度を想定しているが、これを超える場合は、別途検討を要する。)
3. 裏込め材の天端厚さ(b)は、裏込め土が良質な場合は20cmとし、普通土の場合は30cmとする。また、比較的よく締まった地山の切土部に使用する場合、裏込め材を上下等厚とし、材厚を30~40cmとしてよい。
4. 擁壁背面の排水工には、特に注意し、 $\phi 50\text{mm}$ 程度の水抜き孔を2.0~3.0mに一箇所設けるのが望ましい。ただし、河川護岸または、擁壁前面に水位がある場合は、設けないこととする。
5. 環境保全タイプまたは、魚巢・植生タイプを使用する際は、河川の水衝部等で胴込め材が吸出される危険がある場合は、粒径の大きな単粒度碎石または、割栗石を胴込め材に使用するのが望ましい。
5. 伸縮目地の間隔は、10m以下とする。

ネクストンII 標準基礎工 寸法図



基礎材の厚さは、20cmを標準としている。支持地盤が良好で厚さを減じる場合や、支持地盤まで置き換えるために厚くする場合は、別途考慮のこと。

また、基礎底面が岩着となる場合は、基礎材は使用しない。

基礎工寸法および数量表

擁壁勾配	裏込め コンクリート 厚さ (cm)	寸法値 (mm)							数量 施工延長 10m当り		
		Hb	Bb	a	b	c	d	e	型枠 (㎡)	コンクリート (㎡)	基礎砕石 (㎡)
1:0.3	0	300	629	100	479	50	156	144	4.56	1.471	8.29
	10	300	683	100	479	104	156	144	4.56	1.556	8.83
	15	300	736	100	479	157	156	144	4.56	1.638	9.36
	20	300	788	100	479	209	156	144	4.56	1.719	9.88
1:0.4	0	300	664	150	464	50	114	186	4.14	1.469	8.64
	10	350	722	150	464	108	164	186	5.14	1.895	9.22
	15	350	776	150	464	162	164	186	5.14	1.984	9.76
	20	350	830	150	464	215	164	186	5.14	2.072	10.30
1:0.5	0	350	697	200	447	50	126	224	4.76	1.828	8.97
	10	400	759	200	447	112	176	224	5.76	2.286	9.59
	15	400	815	200	447	168	176	224	5.76	2.385	10.15
	20	400	871	200	447	224	176	224	5.76	2.483	10.71
1:0.6	0	400	729	250	429	50	143	257	5.43	2.235	9.29
	10	450	845	300	429	117	193	257	6.43	2.953	10.45
	15	450	904	300	429	175	193	257	6.43	3.065	11.03
	20	450	962	300	429	233	193	257	6.43	3.177	11.71



TAKAMISAWA

株式会社 高見澤

コンクリート事業部

問合せ先	本部・開発研究所	TEL:026-247-5711	FAX:026-247-5066
	北信営業所	TEL:026-247-3151	FAX:026-247-3121
	東信営業所	TEL:0268-26-1722	FAX:0268-26-1070
	中信営業所	TEL:0263-40-5211	FAX:0263-40-5226
	南信営業所	TEL:0265-85-3061	FAX:0265-85-4586
	北関東営業所	TEL:0493-53-1086	FAX:0493-53-1087